日本酒を愛する人の

かすが会ニュース

Ｎｏ.50

発行：かすが会広報室　（ｔｅｌ：04-7185-1911　春日や内）

平成23年度 第1回例会（報告）

第1回例会は中止しました。

中止の経過報告

かすが会会長　金子　昌也

3月11日14時46分、東北地方太平洋沖を震源とし、過去最大規模のＭ9を超える巨大地震が発生し、揺れによる大きな被害と共に、その後発生した巨大津波が東北から関東までの広い範囲の海岸線を襲い、人や家屋を初めとしてあらゆるものを奪い去るという甚大な被害が発生致しました。

遠く離れた関東でも、液状化現象により家屋の倒壊や地下埋設物に多くの被害が出て、未だ復旧出来ない地区も多いと聞きます。

警察庁の被害状況資料には、6月5日現在で死者が１５３６５人、行方不明者が８２０６人、避難者が９８５０５人という驚愕の数字が並んでいます。

更に加えて地震と津波の影響により、福島原子力発電所で水素爆発や炉心溶融という大事故が誘発され、大量の放射能が環境に放出されて汚染が広がり、多くの方々が避難生活を強いられるという、前代未聞の事態を引き起こしています。

大震災の犠牲になられた方々、並びにそのご遺族、そして様々な被害に遭遇された多くの皆様に、心から哀悼の意とお見舞いを申し上げます。

この様な非常事態発生に鑑み、かすが会では3月27日に予定して準備を進めて来た「かすが会総会」と「平成23年度第一回例会」を中止させて頂きました。

既に参加申込者が約１００人、出品酒も20種を越える状況でしたが、このお酒は7月例会に生かすべく、蔵元会員の皆様には保管をお願いしていますので、7月例会にご期待下さい。

会員蔵の被害状況

東日本大震災により東北地方から関東まで多くの日本酒蔵元で被害が発生し、特に震源に近い東北の太平洋側の蔵元では、蔵や家屋等の建物が使用不能になり、仕込み中のお酒の流失、大量の瓶の破損、敷地の変形、諸設備の故障、等々大きな影響が出ています。

関東では液状化の影響で家屋や設備が傾いたり、上下水道が使えなくなったりする被害が目立ちます。

地区により、また個々の立地条件により、被害の程度は様々ですが、中には再出発が難しいのではと危惧される程厳しい状況の蔵元も有るようです。

各県の酒造組合の公表資料に依れば、「かすが会蔵元会員」の被害状況は次の通りですが、幸いな事に甚大な被害は無かったようです。

（見落としが有るかも知れません。他に被害の無い事を願っています）

日高見　㈱平考酒造
津波はふくらはぎ程度まで冠水、冷蔵貯蔵庫壊れ中の酒の被害大、余震により製品の破損発生。

月の井　月の井酒造㈱
土壁にヒビ、タンク異常なし、店頭商品一部破損。

愛友　愛友酒造㈱
事務所と蔵の壁に多数のひび割れ、瓦の崩落、商品も僅かに破損。

稲花正宗　稲花酒造㈱
煙突の上部倒壊、土蔵の壁にヒビ。

東薫　東薫酒造㈱
屋根瓦が大きく破壊、設備機械類及び酒は問題無し。

平成 23 年度第２回例会
「熟成新酒を楽しむ会」

7月例会の企画

本年３月に「搾りたての新酒を楽しむ会」を企画しましたところ多数の会員蔵元様から出品のご連絡をいただきましたが、第１回例会は東日本大震災の為に中止となってしまいました。

（出品酒は３ページに掲載）

出品酒は春日やの氷温冷蔵庫や、蔵元の蔵内で約４ヶ月間じっくりと熟成されています。

昨年（2010-3-11）の「搾りたての新酒を楽しむ会」では、30 社・35 銘柄が出品されました。参加者はメモを取りながら試飲。その後、鈴木屋本店の料理と共にじっくり味わいました。

第２回例会は「熟成新酒を楽しむ会」としてこの熟成された新酒を試飲します。搾りたての新酒は麹独特の甘い香り、とろりとした濃厚な味わいと舌先にピリピリした荒さを感じさせますが、時間と共に落ち着いた味わいにまとまってきます。

従来、日本酒は冬場の寒い時期に造って秋まで蔵内で熟成させ、冷たい秋風が吹く頃に出荷していました。熟成させることでばらばらとした荒い味を落ち着かせ、深みのある旨酒にします。ボージョレーヌーボーのような早飲みワインもありますが高品質のワインは数年熟成させてから出荷しています。

会員の皆様には毎年「搾りたての新酒を楽しむ会」で搾りたての素晴らしさを味わって頂いておりますが、今回は熟成された新酒を鈴木屋本店の老舗の料理と共にじっくりと味わって頂きたいと願っています。

全国新酒鑑評会

日本で唯一のお酒に関する国の研究機関である「酒類総合研究所」では毎年、全国新酒鑑評会を開催しています。

明治44年の第１回開催以来、今年で通算99回となります。本鑑評会は、その年に製造された清酒を全国的な規模で調査・研究することにより、製造技術と酒質の現状及び動向を明らかにし、もって清酒の品質向上に寄与することを目的としています。現在、全国規模で開催される唯一の清酒鑑評会で、製造技術と品質の向上に果たす役割は極めて大きいものとされています。左の表は、かすが会会員蔵元の入賞酒です。

本年は８７５点が出品され予審（４月20日～22日）、決審（５月10日～11日）を経て４３７点が入賞酒に選ばれました。入賞酒の中で特に優秀と認められた２４４点が金賞酒となりました。

同研究所の総評で22ＢＹは、猛暑による原料米の硬さに酒造最盛期の冷え込みが重なり、更には東日本大震災で酒造りには厳しい年でした。

22BY　全国新酒鑑評会　かすが会蔵元の入賞酒

県	銘柄	蔵元	金賞	銀賞
青森	八鶴	八戸酒類㈱		○
宮城	新開	㈱平孝酒造	○	
秋田	天の戸	浅舞酒造㈱		○
	まんさくの花	日の丸醸造㈱		○
	出羽鶴	秋田清酒㈱	○	
	福小町	ﾅｼｮﾅﾙ物産㈱	○	
山形	出羽桜	出羽桜酒造㈱		○
	辨天	(資)後藤酒造店		○
福島	大和川	(資)大和川酒造店	○	
	開當当男山	開当男山酒造	○	
茨城	愛友	愛友酒造㈱		○
	月の井	㈱月の井酒造店		○
栃木	東力士	㈱島崎酒造		○
	天鷹	天鷹酒造㈱		○
新潟	誉麒麟	下越酒造㈱		○
	越路乃紅梅	頚城酒造㈱		○
	八海山	八海醸造㈱		○
	長陵	高橋酒造㈱	○	
千葉	稲花正宗	稲花酒造㈲		○
	東薫	東薫酒造㈱	○	
富山	若鶴	若鶴酒造㈱	○	
	銀盤	銀盤酒造㈱	○	
石川	天狗舞	㈱車多酒造	○	
鳥取	千代むすび	千代むすび酒造㈱		○

今年から山田錦の使用割合による区分制が廃止になりました。東日本大震災で被災された県から前年並みの出品があり幾多の苦難を乗り越えて出品されたことに深く敬意を表します。出品酒の品質で、味は米質が硬いと甘味が減って渋味や苦味が出やすくなり味のバランスが悪くなる傾向がありますがモロミの適切な温度管理で克服しています。香りはカプロン酸エステルの平均濃度が若干低くなって官能的に穏やかに感じられると評しています。

かすが会　平成２３年７月例会「熟成新酒を楽しむ会」出品酒リスト（暫定版）

下記リストは、本年３月に蔵元会員様から３月例会に出品予定と連絡のあった出品酒リストです。
蔵元様から出品の連絡が有る前に「中止宣言」しました関係で未回答の蔵元様がおられますので、７月例会時はさらに追加されるものと思われます。また、諸事情で下記の出品酒は変更となる場合があります。
出品酒の一部は３月より春日やの氷温冷蔵庫で保管中ですが、大部分は蔵元の蔵内で熟成中です。
搾ってから約４ヶ月経過しておりますのでどの様に変化しているかが楽しみです。

No	銘柄	蔵元	出品酒	原料米・麹	原料米・掛	使用酵母	ｱﾙｺｰﾙ	酒度	酸度	ｱﾐﾉ酸度	市販	容量
1	まんさくの花	日の丸醸造㈱	まんさくの花　特別純米　槽しずく	吟の精(55%)	吟の精(55%)	K－9	17.5	＋3	1.6	1.5	2,730	1,800
2	出羽鶴	秋田清酒㈱	出羽鶴純米吟醸　袋吊り雫	山田錦(50%)	山田錦(50%)	AK-1	15.8	＋4	1.4	0.9	1,890	720
3	栄光冨士	冨士酒造㈱	栄光富士 朝顔ラベル	山田錦(50%)	美山錦(50%)	K－10	15.5	＋2	1.4	1.0	3,460	1,800
4	出羽桜	出羽桜酒造㈱	鑑評会出品酒	山田錦(35%)	山田錦(35%)	山形酵母	・	・	・	・	非売品	1,800
5	開当男山	開当男山酒造	開当男山鑑評会出品用生酒	山田錦(35%)	山田錦(35%)	……	16.2	＋5	1.1	0.9	非売品	1,800
6	東力士	㈱島崎酒造	純米吟醸　無濾過生原酒 W酵母仕込	山田錦(55%)	山田錦(55%)	M-310(小川酵母)	16～16.9	±0	1.5	1.3	3,150	1,800
7	〆張鶴	宮尾酒造㈱	「〆張鶴」大吟醸生原酒	山田錦(35%)	山田錦(35%)	自社酵母	17.8	+3	1.2	0.7	非売品	1,800
8	麒　麟	下越酒造㈱	「麒麟」大吟醸 袋取り雫酒・山田錦	山田錦(35%)	山田錦(35%)	K1801	18.1	＋4	1.2	1.1	10,500	1,800
9	麒　麟	下越酒造㈱	「麒麟」大吟醸 袋取り雫酒・越淡麗	越淡麗(35%)	越淡麗(35%)	K1801	18.2	＋5	1.2	0.8	10,500	1,800
10	長　陵	高橋酒造㈱	やいち・特別純米　無濾過生原酒	五百万石(60%)	五百万石(60%)	新潟吟醸9号泡無酵母	17.0	＋4	1.4	1.2	2,625	1,800
11	越の鶴	越銘醸㈱	本醸造越の鶴無濾過生原酒	五百万石(60%)	五百万石他(60%)	協会7号、10号	19.4	＋5	1.7	1.2	2,625	1,800
12	麗　人	麗人酒造㈱	麗人甑倒し記念蔵出新酒純米吟醸	山田錦(39%)	山田錦(39%)	18号	16.0	±0	1.4	0.8	6,510	1,800
13	若　鶴	若鶴酒造㈱	純米吟醸苗加屋初しぼり	山田錦(55%)	山田錦(55%)	K－1401	17.5	＋2	・	・	2,992	1,800
14	銀　盤	銀盤酒造㈱	吟醸しぼりたて	山田錦(50%)	山田錦(50%)	1801号	16.0	＋5	1.2	1.2	1,237	720
15	天狗舞	㈱車多酒造	大吟醸生酒　中三郎	山田錦(35%)	山田錦(35%)	自家培養酵母	16.6	＋5	1.1	1.0	10,500	1,800
16	花　垣	㈲南部酒造場	大吟醸鑑評会出品酒	山田錦(35%)	山田錦(35%)	1801+1401	18.0	＋3	1.2	0.7	非売品	1,800
17	三千盛	㈱三千盛	嶺萌(れいほう)	山田錦(40%)	山田錦(40%)	KA－1	15.3	＋12	・	・	2,500	720
18	黒　牛	㈱名手酒造店	純米大吟醸黒牛斗瓶取り	山田錦(40%)	山田錦(40%)	(非公開)	16.4	＋4.0	1.5	1.3	非売品	1,800
19	千代むすび	千代むすび酒造㈱	「強力」純米吟醸　袋取りしずく酒	強力(50%)	強力(50%)	9号	18～19	＋3	1.8	・	3,465	1,800
20	李　白	李白酒造㈲	純米大吟醸しぼりたて	山田錦(45%)	山田錦(45%)	協会9号系	17.4	＋4	1.6	1.3	非売品	720

編集後記に代えて

かすが会副会長　加藤　洋一

東日本大震災以後の自粛ムードについて思うこと

３月11日の東日本大震災発生直後から、日本中のあらゆる場面で自粛ムードが極端に広がり、花見会や宴会は基より、旅行や花火、各種の記念行事から結婚式まで中止や延期する事が当たり前のように行われてきました。

節電により街は暗くなり、飲み歩く人は激減し飲食店には閑古鳥、温泉地の旅館は予約の取り消しが相次ぎ経営危機に陥る旅館も数知れず、福島原発の事故による放射能拡散の風評被害で農産物や水産物の販売不振と出荷停止処分。

テレビを中心に報道は毎日のように津波被害のリアルな映像と福島原発の無残な姿のオンパレードを繰り返していました。

こんな状況が続けば日本経済の衰退は目に見えて明らかなのに、ただ何となく世の流れで前向きに動けない自粛ムードが蔓延しています。

これは「何事も目立たず横並びに」という日本人独特の気質に因るところが多いようですが、本当にこんな事で良いのでしょうか。

そんな中で東北地方のある日本酒蔵元からテレビの取材で「花見会は中止せずに大いに実施し、東北の酒を飲むことで応援して欲しい」との声が上がりました。

これが切掛けになったかどうかは分かりませんが、その後の報道の姿勢として東北の産品を積極的に消費して応援しようという姿勢が見られるようになりました。

あまりにも行過ぎた自粛ムードにも反省の弁が漸く聞かれるようになりましたが、早くから「自粛の自粛」を説いて来た私個人の見方としては、もう少し早い時点での転換が望ましかったと思っています。

義援金とボランティアについて

東日本大震災以後にマスコミの批判対象になった政治や行政の対応の鈍さとは反対に、個人の行動として注目に値するのが多くの人々のボランティア参加と、多額の義援金や寄付金が寄せられている事です。

ボランティア希望者はあらゆる年代の方々で、自前で交通手段と宿泊先を確保しなければならない状況の中で現地に多数押しかけ、受け入れ側が対応し切れないほどの状況も有りました。

この現象は10年以上前の阪神淡路大震災の時にその萌芽が見られたようですが、今回は桁違いに増加したようです。

２５００億円にもなった義援金や寄付金は、税の優遇措置も不満足な日本にあって異例の出来事と言えましょう。個人の力による相互扶助と支援の輪がこれほど見事に実現したのは素晴らしい事です。

自治体自体が被害を受けたとはいえ、その配分と被災者への配布を担当する政治と行政の何たる体たらく、震災後３ヶ月も経ってまだ１割強程度しか被災者に渡っていない現状を何と考えれば良いのでしょうか。

＜みんなの笑顔のために「Smiles for All」＞

～がんばります！東北の酒蔵～

出羽桜では、同じ東北の酒蔵として自分たちが出来ることを考え、行動に移します。微力ではありますが復興支援活動として、掲載のプロジェクトを立ち上げます。

下を向いてばかりいられません。
笑顔のない場所には陽は差しません。
明日への希望を胸に、笑顔で一歩前へ踏み出しましょう。
多くの皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。今日誰かと心から笑うことができる歓び。
明日が見えにくい今こそ、笑顔をつぎつぎと。
「日本酒で笑顔に！」
皆様の笑顔と共にありたい。
出羽桜の切なる願いです。

出羽桜酒造株式会社
代表取締役社長
仲野　益美